

2025 年度 中国語【ソロ部門】

《凉州词二首 其一》 王翰

《Liángzhōucí èrshǒu qíyī》 Wáng Hàn

葡萄美酒夜光杯	Pú táo měi jiǔ yè guāng bēi	葡萄のうま酒 夜光の杯
欲饮琵琶马上催	Yù yǐn pí pá mǎ shàng cuī	飲もうとすると 琵琶が馬上で興を添える
醉卧沙场君莫笑	Zuì wò shā chǎng jūn mò xiào	酔いつぶれて砂地に臥しても 君よ笑ってくれるな
古来征战几人回	Gǔ lái zhēng zhàn jǐ rén huí	昔から戦に出て 帰った者はどれほどいたか

(宇野直人『漢詩をよむ—漢詩の来た道(唐代前半)』日本放送出版協会, 2009 年)

【解説】

世界帝国・唐の最盛期に作られた詩だけあって、ブドウ酒や西域特産の玉(ぎょく)で作られた「夜光杯」など、エキゾチックで煌びやかなフレーズで幕を開ける。3 行目の「沙場」は直接的には砂漠=中国の西に広がるタクラマカン砂漠や中央アジアのステップ地帯を指すが、この地はまさに唐王朝と遊牧民との抗争の地であった。世界帝国の威光は、実は多くの名もなき兵士たちの恐怖心を燃料として輝いていたことを、この詩人は知っていた。

今に至るまでこの詩が、中国(そして日本でも)愛唱されてきたのは、なぜであろうか。戦争に巻き込まれる哀れな庶民への同情というだけではあるまい。人は時として与えられた大きな目的のために、何かで自分をごまかしながら、気が進まぬことをやらざるを得ない状況に置かれてしまう。そのような日々の想いに引き付けて読み込むことができるところに、この詩の人気の秘密がある。